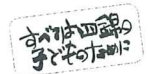


学校だより



しきん

令和7年 9月 30日
京都市立第四錦林小学校
校長 森田 千佳
特別号



学校教育目標

自ら考え判断し、自信をもって
行動する子を育てる

エージェンシー
(子ども主体の学び)

心理的安全性
(失敗できる環境)

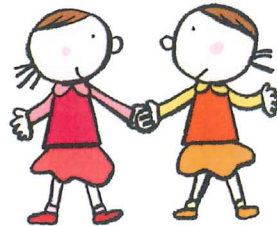
みんなが笑顔
(持続的で魅力ある学校)

特集 学校評価 (1)

保護者の皆様には、第1回「学校評価アンケート」(7月実施)にご協力いただきありがとうございました。保護者・児童・教職員のアンケート結果をもとに、成果や課題を分析しました。分析結果を全教職員と共有し、保護者・地域の皆様と共に連携を図りながら、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

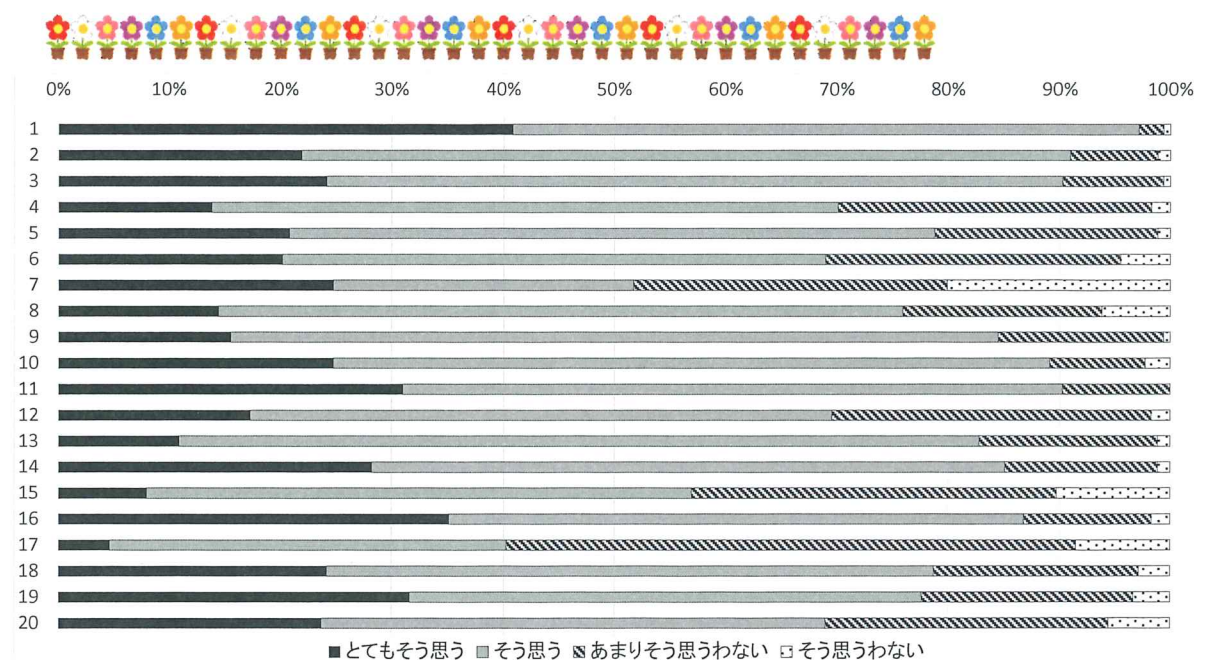
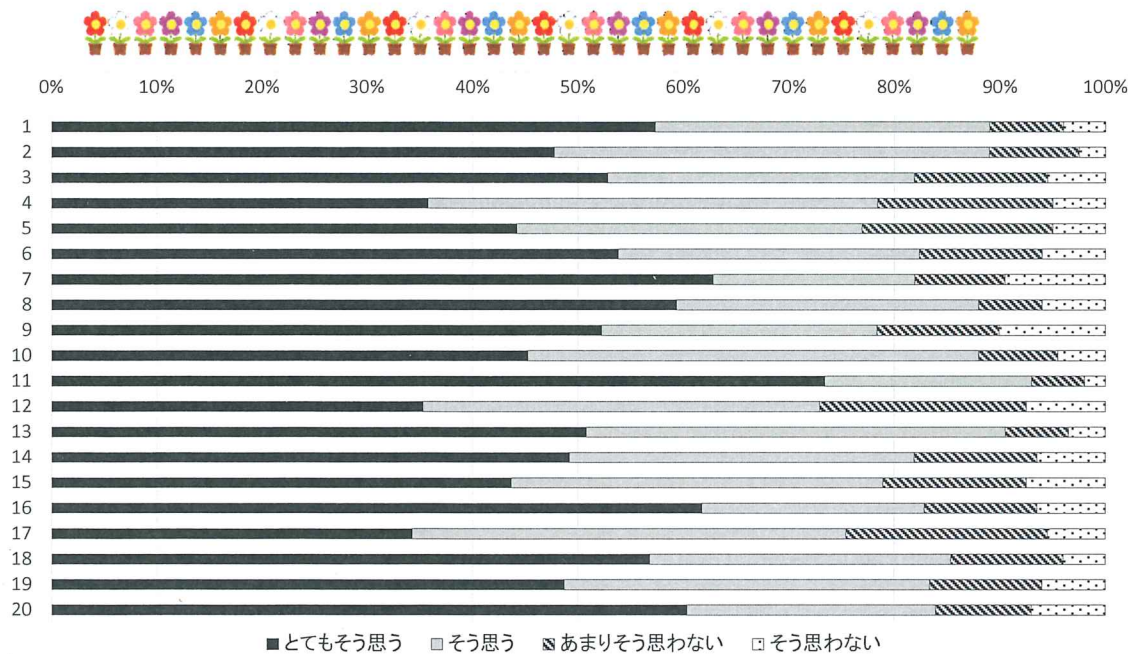
児童集計

1	がっこうは たのしい。	11	クラスには たすけあえる ともだちがいる。
2	がっこうのがくしゅうは よくわかる。	12	いろいろなせんせいと はなしたり そうだんしたりしている。
3	いろいろなせんせいが じゅぎょうしてくれるのは たのしい。	13	「しきんのやくそく」を まもっている。
4	じぶんから もんだいをみつけ、かいけつほうほうを かんがえている。	14	じぶんから げんきにあいさつを している。
5	がくしゅうしたことを ともだちとはなしあったり ぶんにかいたり はっぴょうしたりしている。	15	じぶんのもちもの せいりせいとんができて いる。
6	かていがくしゅう(しゅくだいなど)は じぶんからす すんで している。	16	たのしくあそんだり うんどうしたりして からだをうごかしている。
7	ほんを よむのが すきです。	17	しををたたくして がくしゅうしている。
8	GIGAたんまつを がくしゅうどうぐとして つかいこ なしている。	18	てあらい・うがい・はみがきはいつもして いる。
9	じぶんには よいところがある。	19	はやね・はやおきをし、あさごはんをたべて いる。
10	あいてのきもちをかんがえて はなしたり こうどうし たりしている。	20	きゅうしょくは、すきらいせず たべて いる。



保護者集計

1	わが子は楽しく学校へ行っている。	11	わが子には困った時に助け合える友達がいる。
2	わが子は学習内容を理解している。	12	わが子は学級担当以外に、いろんな先生と話したり相談したりしている。
3	わが子は学年担任や教科担任の授業を楽しみにしている。	13	わが子は家庭の約束を守っている。
4	わが子は自分から問題を見つけ、解決しようとしている。	14	わが子は家族や知り合いの人とあいさつをかわしている。
5	わが子は学習したことを、自分で考えた方法で 自信をもって表現している。	15	わが子は身の回りの準備や後片付けができて いる。
6	わが子は家庭学習(宿題など)を自分から進ん でしている。	16	わが子は楽しく遊んだり運動したりして 体を動かしている。
7	わが子は 家で 本を読んでいる。	17	わが子は食事や学習をしている時、姿勢を正しく している。
8	わが子はGIGA端末を学習道具として使っている。	18	わが子は手洗い・うがい・歯磨きの習慣がついて いる。
9	わが子は自分のよいところに気付いている。	19	わが子は早寝・早起き・朝ごはんの習慣がができて いる。
10	わが子は相手の気持ちを考えて行動している。	20	わが子は好き嫌いせず食べている。



●設問7では、前回より肯定的な回答が7ポイント増えました。本校の児童は、積極的に図書館や学級文庫を活用し読書することが好きな児童が多いです。今年度より、全学年が本館に移動することに伴い、わくわくルーム(低学年図書館)を、本館3階図書館横に移設することで、児童がより、身近に多くのジャンルの本にふれられるように環境を整えました。また、PTA読み聞かせボランティア「おはなしわくわく」さんが、毎週水曜日に、わくわくルームでの絵本の読み聞かせ(中間休み)や、給食時間中の放送で読み聞かせをしていただいたりしています。このような取り組みの成果が、少しずつ出てきているのではないかと考えます。

●設問3と12では、前回より肯定的な回答が8～10ポイント減りました。新年度を迎え、新しい学年担当や教科担当の先生になり、少し慣れていない児童も見られます。教職員も児童との信頼関係を徐々に結んでいっているところではありますが、2学期以降、教職員自らが積極的に児童に声をかけていくことを意識していきたいと思います。

●設問16では、前回より肯定的な回答が8ポイント減りました。この設問では、保護者・教職員においても肯定的な回答が減っている傾向が見られます。今夏は特に暑い日が続き、子どもたちが楽しみにしている休み時間をはじめ、体育科の運動場での学習や水泳時には危険な暑さに達して、外で活動することができない日が多かったことが原因としてあげられます。外で遊べないときには、GIGA端末やPTAより寄贈していただいたボードゲームなどを活用して楽しく過ごすようにしていますが、やはり思いっきり外で体を動かすことができないことはストレスを感じることが多いと思います。適度な運動は健康な生活を送る上でとても大切なことです。学校においては、積極的に運動を楽しむ方法を児童に発信していきたいと思います。

●設問7では、保護者・児童ともに否定的な回答が約21ポイントありました。本校は、今年度の学校教育目標を「自ら考え判断し、自信をもって行動する子を育てる」としています。「自信をもつ」には、児童自らが自分のよさを認識し自尊感情を育むことが重要になります。そのためには、学校や家庭において、子どもたちの頑張りに目を見張り、その頑張りに対して価値づける声かけや関わりが大切だと考えます。学校においては、今後さらに、児童が「見てほしい」「聞いてほしい」「考えてみたい」「表現したい」という主体的に学ぶ姿勢が生まれる授業や体験を実践することを通して、自分の良さに気づき「自信を持って行動する子」の育成を目指していきたいと思っています。

●設問14、16、18、20の「基本的な生活習慣」についての問いは、前回より肯定的な回答が約3～7ポイント減っている傾向が見られます。特に、設問20の「好き嫌いせずに食べている」について課題があると回答された方が全体の30%でした。各学年、給食時に自分で食べる量を調整してから食べるようにしますが、極端に少なく減らす児童も少なくありません。学校においては、苦手なものも「一口だけでもチャレンジしよう。」と。ご家庭におかれましても、食育の観点から、様々な食材に出会わせていただけると幸いです。

●設問8では、前回より肯定的な回答が7ポイント増えていました。2学期より、2ndGIGA端末(iPad)が全学年に配備され、今後、さらに授業や学習のデジタル化が進んでいくことが考えられます。学校では、GIGA端末活用時の健康上のルールに留意するよう指導し、情報モラルの学習にも力を入れることで、ますます子どもが学びの当事者としてデジタルならではの強みを理解しデジタル社会の一員として正しい行動がとれるように指導していきたいと思っています。

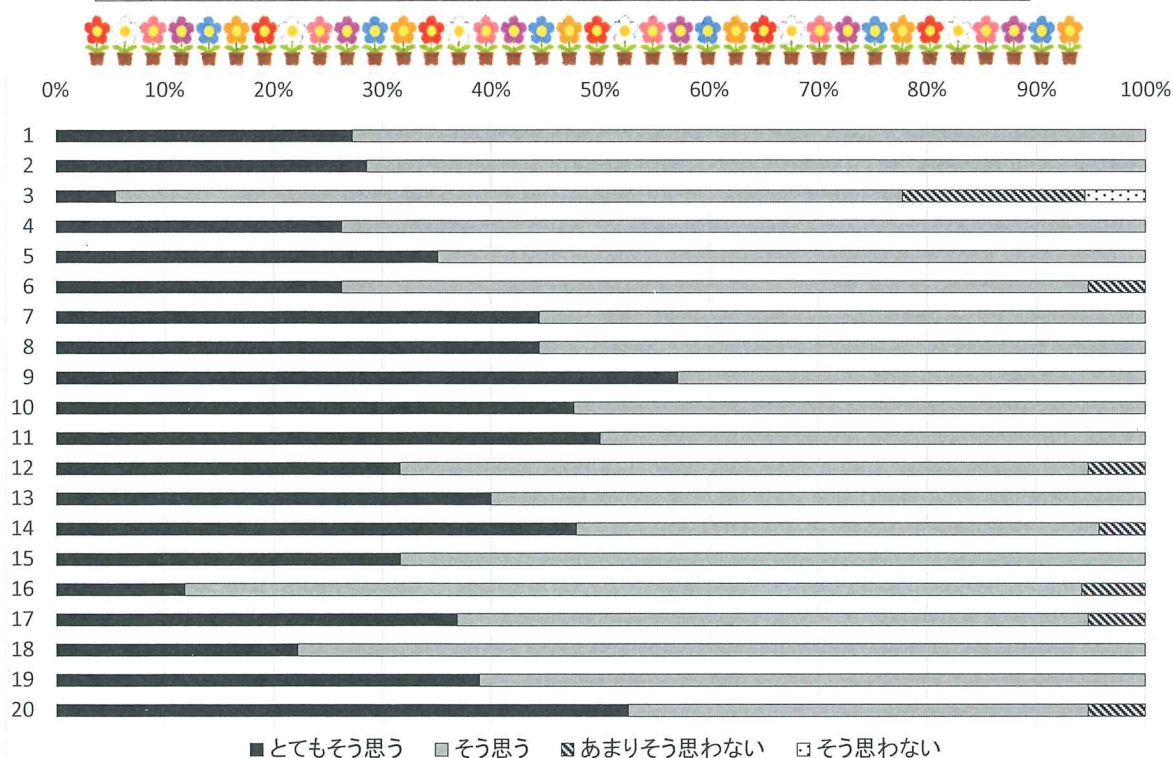
特集 学校評価



教職員集計



1	学校が楽しくなるよう工夫をしている。	11	仲間意識を高め、協力し合える学級づくりに取り組んでいる。
2	わかる（習得）→できる（活用）→生かす（探究）を目指す授業改善を図っている。	12	チームで学年や全校の子どもと関わり、指導を進めている。
3	教科担任制によって、授業改善を図っている。	13	「しきんのやくそく」を守るよう指導している。
4	子どもは問題意識をもって主体的に学びが進められるよう指導している。	14	子どもたちの見本となるよう笑顔であいさつをしている。
5	目的や場に応じた方法で、自信をもって表現できるように指導している。	15	整理整頓された教室環境に努めている。
6	家庭学習（宿題など）に主体的に取り組めるよう指導している。	16	楽しく遊んだり運動したりして 体を動かす機会をつくっている。
7	毎日、読書に親しめる機会をつくっている。	17	子どもたちが姿勢を正しくできるよう指導している。
8	子どもたちがGIGA端末を効果的に活用する学習活動を積極的に進めている。	18	手洗い・うがい・歯磨きの定着に努めている。
9	子どものよさや頑張りを認め、ほめる指導をしている。	19	早寝・早起き・朝ごはんの大切さを指導している。
10	相手の気持ちを考えて行動するよう指導している。	20	給食を残さず食べるように取り組んでいる。



●設問7では、前回より肯定的な回答が38ポイント増えました。この設問では、保護者・児童においても肯定的な回答が増えました。昨年度の児童アンケートに結果から、読書に進んで向き合えていない児童が一定数いることを受けて、今年度から本校では、原則、昼の帯時間を全学年で読書活動に取り組むことに決めました。教員も一緒にその時間は読書したり、低学年では読み聞かせをしたりしています。さらに、学校図書館を活用して、読む本を選んだり、学級文庫を更新したりするなど、積極的に読書に向かえる環境を整えるように、日々取り組んでいます。

●設問12では、前回より肯定的な回答が16ポイント増えました。チーム担任制・教科担任制の取組やねらいを、該当学年の教員だけでなく全教職員が正しく理解することで、教職員の意識が高まっていると考えられます。本校では、毎月、各学年の児童の様子について情報共有する場を設けています。出てきた課題について、部会で解決方法や方針について話し合うことで、よりよい児童のかかわり方や指導について協議しています。今後も、全教職員で、児童を見守っていききたいと思います。



学校教育目標

自ら考え判断し、自信をもって 行動する子を育てる

エージェンシー
(子ども主体の学び)

心理的安全性
(失敗できる環境)

みんなが笑顔
(持続的で魅力ある学校)

～学校運営協議会より～ いただいたご意見ご感想

○読書の環境整備や推進の取組のおかげで、着実に読書に親しむ児童が増えている。今後も、読んだ本について感想を伝え合ったり紹介したりする活動も入れていくことで、ますます本を好きになる児童が増えるのではないだろうか。

○「学校が楽しくない」と回答している10%の児童が、どのような理由で「楽しくない」と感じているのかを、設問11の「友達関係」をはじめその他の項目と関連させて分析するなどして、理由や原因をしっかりと調査していく必要がある。悩みや困りなどを自分から、なかなか話せない児童の声をしっかりと受け止めていく機会を増やしていく必要がある。

○登校班などで、些細なトラブルを見かけることもよくある。学校が見えない部分を、保護者・地域が学校と連絡を密にすることで、複数の目で児童を見守るようにし、いじめや問題行動の未然防止につなげていきたい。

○暑さ指数が「危険」な数値になることが多かったので仕方ないことなのだが、あまり室内ばかりでの活動になると、児童の暑さへの体の調整が効かなくなってしまうことも懸念される。体育館も屋内とはいえ、暑さ指数が大変高くなるので、エアコンの設置を京都市においても早急に進めていってほしい。



～学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました～

結果から、本校の教育が地域の皆様・保護者の皆様のご理解と温かな見守りに支えられていることを再確認するとともに、本校の課題も明らかにすることができました。

今後も、学校教育目標『自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる』の具現化をめざし、取組を進めて参りたいと思います。

京都市では、今日に至る教育改革の柱として、徹底して「開かれた学校づくり」を推進してきました。これは、学校と家庭・地域との相互の信頼と協働の関係を構築する基盤となっています。今後も、保護者や地域の方々に参画いただき市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を展開していきます。変化の激しい現代社会において、子どもたちが自ら考え判断し、自信をもって行動し、未来を切り拓いていけるように「生きる力」を育み、社会全体で子どもたちの教育に取り組んでいくことが大切です。子どもたちの豊か学びと育ちのために、尚一層のご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。